

研究会でご議論いただきたい論点

1. 中小企業のイノベーションの在り方に関する有識者検討会ではマーケットインの観点から中小企業のイノベーションを支援する外部専門家であるイノベーション・プロデューサーによる支援を実証事業として行うことを提言いただいた。実証事業は現在2年目を迎えているが、今後どのような方向性で事業を進めるべきか、また国による支援には限界がある中で、実証事業の成果をどのように活かしていくべきか。
2. また、有識者検討会では、今後の課題として、中小企業の経営者や従業員がイノベーション・プロデューサーとしての能力を持ち求められる機能を遂行できることが望ましいとしていたところ、中小企業における人材育成、更にはその土壌となる産学官連携をどのように推進していくべきか。
3. ドイツのフラウンホーファー研究機構にみられるように、産官学間の共同研究や人材流動を通じてマーケットインのイノベーションが自律的に創発されるイノベーション・エコシステムを我が国に形成していくためには、どのような方策が必要か。
4. 中小企業が生産性向上・賃上げのための「稼ぐ力」を高め、成長していく上で、中小企業によるイノベーションを促進していくことは非常に重要だが、特にカーボンニュートラルや経済安全保障といった社会課題を背景としたマーケットへの中小企業の進出及びイノベーションの創出・実装をどのように促進していくべきか。
5. 中小企業におけるイノベーションの基盤として、中小企業における人手・人材不足への対応が求められる中、中小企業における生産性向上や省力化、働き方や職場環境の整備（ライフデザイン支援や子育て支援等）をどのように促進していくべきか。